

## 救いの完成(聖化、栄化)

原田元道

### 「信じる者は救われる」

- ・ 信頼関係と主従関係の下でイエスを信じて従う
  - 知識として認めるだけでなく**個人的な信頼**を置く
  - **イエスを「主」として信頼**して付き従う
  - 自分中心ではなく**神中心の生き方に改める**(悔い改め)
- ・ 恵みによって、主イエスを信じる者は救われる
  - **罪の赦しと永遠の命**が与えられる
  - 全てのものが**新しく造り変えられる**
  - 義と認められ「**義(神)の奴隷**」となる
  - **神の家族**としての交わりに入れられる

信じたら終わり!?

### 聖なる者とされる(聖化)

- ・ 信じてから神中心の生き方が始まる
 

「無知であったころの欲望に引きずられることなく、従順な子となり、召し出してくださいました聖なる方に倣って、あなたがた自身も生活のすべての面で聖なる者となりなさい。『あなたがたは聖なる者となれ。わたしは聖なる者だからである』と書いてあるからです。」(I ペトロ 1:14-16 ; 参考: マタイ 22:36-40)

→**聖なる神に倣う生き方**
  - ・ 究極的にはイエスのように生きる
 

「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。神は前もって知っておられた者たちを、御子の姿に似たものにしようとあらかじめ定められました。それは、御子が多くの兄弟の中で長子となられるためです。神はあらかじめ定められた者たちを召し出し、召し出した者たちを義とし、義とされた者たちに栄光をお与えになったのです。」(ローマ 8:28-30 ; 参考: ヨハネ 13:34)

→**あらかじめ定められた神の計画**
  - ・ 聖霊の働きによって造り変えられる
 

「わたしたちは皆、顔の覆いを除かれて、鏡のように主の栄光を映し出しながら、栄光から栄光へと、主と同じ姿に造りかえられていきます。これは主の霊の働きによることです。」(II コリント 3:18 ; 比較: I テサロニケ 5:23)

→**人間の力・努力だけでは不可能**
  - ・ 人間の努力も必要になる
 

「だから、わたしの愛する人たち、いつも従順であったように、わたしが共にいるときだけでなく、いない今はなおさら従順でいて、恐れおののきつつ自分の救いを達成するように努めなさい。あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。」(フィリピ 2:12-13 ; 比較: ヘブライ 12:14)
- ⇒**救われた者は聖霊(神の霊)によってイエスのように変えられていく**

### **【聖化に関する注意事項】**

- ・ 聖化は救われるための条件ではない
  - 神に対して救いの喜びと感謝を表す手段の一つ(エフェソ 2:8-10 ; テトス 3:4-8)

ブログ(<https://fortheperson.jp>)もご覧ください

➤ 世の人々に対して神を証しする手段の一つ(マタイ 5:16 ; ヨハネ 13:35)

### 栄光ある体に変えられる(栄化)

- ・ 聖化は生きている間には完成しない

「自分に罪がないと言うなら、自らを欺いており、真理はわたしたちの内にはありません。自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます。」(I ヨハネ 1:8-9 ; 比較 : ヤコブ 3:2)

→人は生きる限り罪を犯す存在

- ・ イエスの再臨時にイエスと同じ栄光ある体に変えられる(復活する)

「しかし、わたしたちの本国は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、わたしたちは待っています。キリストは、万物を支配下に置くことさえできる力によって、わたしたちの卑しい体を、御自分の栄光ある体と同じ形に変えてくださるのです。」(フィリピ 3:20-21 ; 比較 : I コリント 15:51-53)

→聖化の完成はイエスの再臨時

- ・ 死の支配から解放された肉体の復活で救いは完成する

「この朽ちるべきものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを着るとき、次のように書かれている言葉が実現するのです。『死は勝利にのみ込まれた。死よ、お前の勝利はどこにあるのか。死よ、お前のとげはどこにあるのか。』」(I コリント 15:54-55 ; 参考 : I コリント 15:20-28)

→肉体の復活を伴う永遠のいのち

- ・ 世の終わりには被造物も解放される

「つまり、被造物も、いつか滅びへの隷属から解放されて、神の子供たちの栄光に輝く自由にあずかれるからです。被造物がすべて今日まで、共にうめき、共に産みの苦しみを味わっていることを、わたしたちは知っています。」(ローマ 8:21-22 ; 比較 : 黙示録 21:1-5)

⇒救われた者は世の終わりに栄光ある体で復活し、新天新地で神と永遠に過ごす

### まとめ(救いの完成)

- ・ 救われた者は聖霊(神の霊)によってイエスのように変えられていく  
←イエスを信じてからが始まり
- ・ 救われた者は世の終わりに栄光ある体で復活し、新天新地で神と永遠に過ごす  
←救いの完成はイエスの再臨時

「そのとき、わたしは玉座から語りかける大きな声を聞いた。『見よ、神の幕屋が人の間にあって、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。最初のものは過ぎ去ったからである。』すると、玉座に座っておられる方が、『見よ、わたしは万物を新しくする』と言い、また、『書き記せ。これらの言葉は信頼でき、また真実である』と言われた。」(黙示録 21:3-5)

再び来られる主イエスに希望をもつことができますように